

平成30年度まで

地域別総合防災研修

防災の基礎的分野を習得

- 都道府県単位、年9か所を順次開催、H30年度で全国一巡
- 防災部門の新任職員及び本部運営・個別課題への対応に従事する担当職員が対象
- 各地域の災害発生上の特性を踏まえたテーマ設定、中央政府の打ち出した政策について伝える機会としてスタート
- 初級者向けに防災基礎的知識・態度を習得する研修として実施中

有明の丘研修

- 年2回、10コース
- 2日間/コース

個別課題(オペレーション系)

- ① 防災基礎
- ② 災害への備え
- ③ 警報避難管理
- ④ 応急活動・資源
- ⑤ 被災者支援
- ⑥ 復旧・復興

マネジメント系

- ⑦ 指揮統制
- ⑧ 対策立案
- ⑨ 人材育成
- ⑩ 総合監理

- ・ 参加市町村が全国約3割、有明の丘研修含め約4割 ⇒【すそ野を広く】
- ・ 各自治体等が自立した人材育成を行うことが重要 ⇒【成長する仕組み】

当面(平成31年度)

地域研修(仮称)

- 防災の基礎能力を地域で育成する場
- 地域で自立的に研修等を行うノウハウを蓄積できる仕組みを構築
- 全国各地で、地域に応じた研修を戦略的(開催方法/研修内容)に開催

- ◆[開催方法]
 - ・ 公募など、地域の意向及び南トラ重点地域などを踏まえ選定
 - ・ 都道府県単位、複数県単位など地域の実情に応じて開催県と調整
- ◆[研修内容]
 - ・ 内閣府提供の「基本形」をベースに日程・カリキュラム・講師を調整
- ◆基本形で研修を実施しながらニーズを把握し、地方プログラム開発に反映
- ◆「研修指導要領」や「標準テキスト」を整備し、「eラーニング」の一般化に反映

※ 基本形カリキュラムのイメージ

地域研修(仮称)の「基本形」は有明の丘研修を圧縮し、「防災基礎」を地域の災害特性に置き換えたもの

圧縮

有明の丘研修

- 全国を対象とした研修
- 10コース×年2回、1コース2日間
- 内容を継続的に改善していくとともに地域研修(仮称)との連携について検討

個別課題(オペレーション系)

- ① 防災基礎
- ② 災害への備え
- ③ 警報避難管理
- ④ 応急活動・資源
- ⑤ 被災者支援
- ⑥ 復旧・復興

マネジメント系

- ⑦ 指揮統制
- ⑧ 対策立案
- ⑨ 人材育成
- ⑩ 総合監理